

2011.6.30 ビックパレットふくしまのボランティア風景

ビックパレットふくしまは本日で避難住民が 600 名を切りました。最大 2500 名以上が入っていたころから、約 1/5 となりました。本格的に仮設住宅への移動がはじまり、市町村のテーマも「自立」ということになったそうです。いよいよステージが移行するようです。また、本日福島県庁に行き、最終的にボランティア活動は 7 月一杯と決まりました。名残惜しい気持ちですが、県の方からもずっと居てほしいと言っていました。市町村の「自立」というテーマからの決定となります。

\*6 月 24 日の福島民友という地元の新聞に鳥取県支部の医療法人勤誠会米子病院からボランティアに参加された中原かすみさんと小林克美さんが掲載されました。下記の写真です。6 月 30 日現在の風景とともに報告いたします。



ビックパレットの横に仮設住宅が立ちました。その手前には住宅のモデルルームが立つ不思議。仮設に入る人、自宅を建て替える人様々なのではないでしょうか？



県の保健師さん古山さんを中心に・・・  
みなさんに活動を喜ばれています。



左から青森県支部美容会病院荒関千恵子さん古山保健師さん、現地コーディネーターの矢野さん、東京都支部かがやき会塩田宗光さんこれから準夜に入ります。



こちらは深夜に出てきた神奈川県支部の曾我病院茂内健次さんと田代誠さん。4日目です。



こちらは準夜と深夜の引き継ぎ中。0：30ごろです。右の青いエプロンの方が、富岡町保健師の滝沢さんで本日の当直です。



一人ひとりの申し送りは真剣そのものです。



救護所 みなさんに喜ばれ、楽しく活動を行っています。  
ボランティア希望の方はシフト表で空きを確認した上で、協会までご連絡ください。  
みなさんの応募をお待ちしております。



6月30日16時過ぎの救護所スタッフ全員。日精看の2名も入っています。  
6月一杯で終了するチームも多く、7月からはこのメンバーの半分程度で運営となりました。

7月12日～17日 1名

7月17日～22日 2名 ボランティア急募です。

\* キャンセルが出て、困っています。参加可能な方はぜひ、災害対策本部までご連絡をお願いします。

災害対策本部